

ウバガイ（地方名：ホッキガイ）



生態

- 分布・移動：鹿島灘以北、日本海北部から沿海州、オホーツク海の水深15m以浅の砂底域に分布します。
- 成熟・産卵：成熟開始年齢は3～4歳です。福島県沿岸における産卵期は4～5月で北に行くほど遅くなります。
- 食性：底生性微細藻類及びその死がいを食べます。

漁獲の動向

貝けた網で漁獲されます。漁獲量の変動は大きく、平成11年には2,024トンまで増加しましたが、その後減少に転じ、平成22年の漁獲量は636トンでした。

震災後、平成26年からいわき地区で、平成28年には相馬地区でも試験操業が開始されました。漁獲量は12.9～183.7トン、漁獲金額は36～89百万円（H25～29は相対取引のため、漁獲金額データなし）で推移しています。操業海域の拡大と操業回数の増加により漁獲量は増加しています。

ウバガイの成長

年齢起算日：5月1日

年齢	殻長 (cm)	体重 (g)
1	3.79	10.9
2	6.89	76.6
3	8.52	153.5
4	9.38	210.2
5	9.84	245.2
6	10.07	265.2

佐々木 (1993)

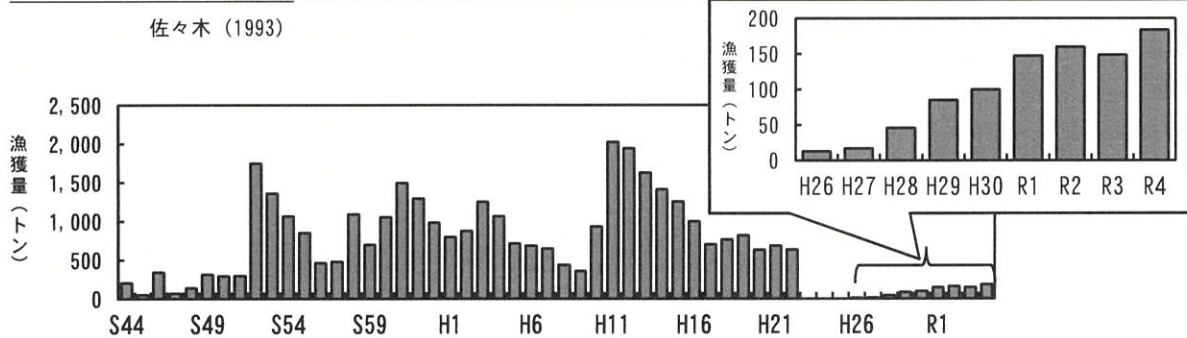
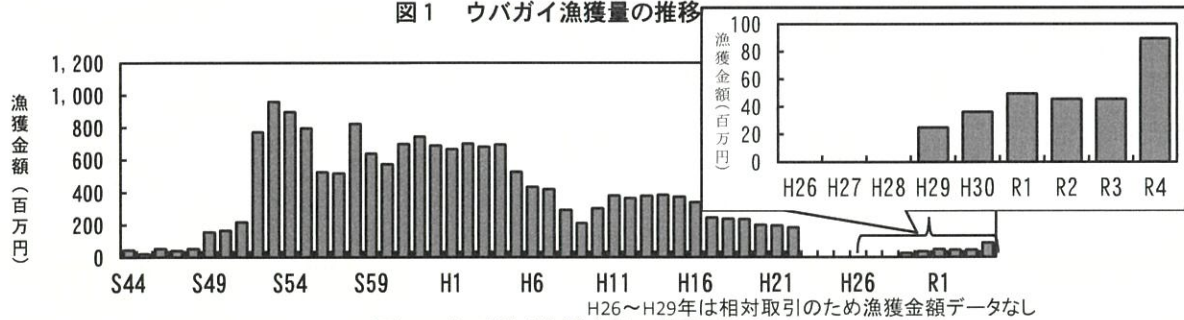


図1 ウバガイ漁獲量の推移



H26～H29年は相対取引のため漁獲金額データなし

図2 ウバガイ漁獲金額の推移

資源の状態：

- 資源のほとんどは卓越年級群によるものです。
- 卓越年級群の発生は平成15年に確認されていますが、それ以降、卓越年級群の発生は確認されていません。震災以降の資源状況は不明です。

資源の水準：不明
資源の動向：不明

現在実施されている管理策：

福島県漁業調整規則により禁漁期（2月1日～5月31日）及び漁獲サイズ（殻長7.5cm以上）が設定されています。自主規制として漁獲サイズ（殻長8cm以上）、目合いの拡大等が行われています。震災前には、プール制の実施や漁場の輪番制等、産卵母貝の保護、資源の枯渇及び価格の低下を防止する管理策も行われていました。

今後考えられる管理策

現在の管理策を継続するとともに、高密度に分布する海域での積極的な漁獲により、成長促進を図ることも必要と考えられます。